

帷子地区懇談会での主な意見と回答

日 時 平成27年7月3日(金)午後7時~午後9時30分

場 所 帷子公民館

出席者 38人

市長による講演「『住みごこち一番・可児』を目指して」の後、質疑応答が行われました。

【質問】自治会で高齢者の移動支援をしています。使用している自動車は助成金で購入しましたが、修理が必要な場合に市で助成してもらうことはできませんか。

【回答】福祉有償運送は、営利とは認められない範囲の対価によって行われることを要件の一つとして、陸運局が許可しているものです。そのため、市からの助成金は収益と見なされてしまい、支援したくてもできないのが現状です。今後も、関係機関と協議しながら、何か良い方法がないか考えたいと思います。

【意見】キッズクラブに従事しています。以前キッズクラブを利用していた中学生が、この夏休みにキッズクラブでボランティアをしたいと言ってくれました。地域で育てられた子どもたちが、そのことに感謝し、地域に還元しようとしてくれていることに感動しました。子どもたちの心も育ててくれる、とてもありがたい事業だと思います。

【回答】そのことが、キッズクラブの一番のねらいです。現在はまだ過渡期で、地域によって取り組み状況も異なりますが、これからも目標達成に向けて事業を進めていきたいと思います。また、キッズクラブとは別に、地域の中でいろいろな知識や経験をお持ちの方が、土曜日や休日を利用して子どもたちに講座などをしていただくような仕組みの検討も始めています。もし実現したら、子どもから大人まで、ぜひ多くの皆さんに参加してほしいと思います。

【意見】可児市は自然が豊かで、名古屋への通勤も便利であるなど素晴らしいまちです。ところが、東京や名古屋などの大都市では、可児市のことを知っている人は少ないと思います。そこで、名古屋近郊の人向けに、退職したら

可児市に移住してもらおうなど、もっと市のPRをしてはどうでしょうか。

【回答】ご意見のとおり、最近では田舎暮らしへの関心が高くなっていますので、名古屋などの都市部でPRすることも大切です。一方で、可児市の子どもたちに、もっと可児市の歴史や文化、地域の人々の温かさなどを知ってもらい、可児市に住みたい、可児市に戻ってきたいと思ってもらえるようにしたいと思います。